

## 和光市図書館サービス計画進捗状況評価 総括表(平成30年度)

基本施策	施策	評価	改善点のコメント	基本施策の評価コメント
I 意識した図書館へ 和光市らしさを	1 図書資料等の収集・保存	適切	一般書の割合を増やして、大人の利用者を増やしていく。	蔵書管理は適切に行われている。今後は一般書の割合を増やして利用を促進していただきたい。
	2 視聴覚資料の充実	適切	若い世代に向けて、ドラマや映画で上映されているものと原作をセットにしたリストを企画し、作成すると今年度の取組の積み重ねになる。また、自然科学のDVDは、その分類の本の書棚に置くなど配置を工夫すると付加価値が付いてくる。	
	3 郷土・行政資料の収集・保存	適切	郷土・行政資料のデジタル化は、生涯学習課の分野であり、図書館の主導することではないが、県の郷土・行政資料をまとめて受け入れる事は、とても良い取組だと思う。	
II みんなが利用しやすい図書館へ	1 乳幼児、小学生へのサービスの充実	適切	民営の保育園に団体貸出を行ったり、絵本を読み聞かせたり、いろいろと取組をしていて素晴らしい。引き続き工夫して取組を考えていただきたい。	利用者に応じたサービスが適切に行われている。今後は成人へのサービスの充実に向けた取組を実施していただきたい。
	2 中学生及び高校生へのサービスの充実	適切	図書館クラブや読み聞かせなど、中高生にとっては、イベントなど一緒に企画をする参加型イベントの方が楽しめるのかもしれない。いろいろと頑張っていると思う。	
	3 成人へのサービスの充実	適切	医療コーナー・パソコン優先席の設置、また、国立がん研究センターに「がん情報ギフト」の申し込みを行ったりと、いろいろと工夫がみられる。来年度は医療情報コーナーを重点的に取り組むのが良いだろう。	
	4 障害者・高齢者へのサービスの充実	適切	日本点字図書館による、視覚障害者や困難者に対して点字や音声データを提供するネットワークである「サピエ」を導入すると、サービスの視野が広がる。	
	5 外国人へのサービスの充実	適切	やさしい日本語で作成した利用案内をもくれんハウスにおいてほしい。また、外国人向けのニーズ調査も実施してほしい。外国人対応のための独自の会話カードの作成、そのリニューアルは、素晴らしい取組である。	
III 居心地の良い図書館へ	1 公共施設等と連携したサービスの提供	適切	公民館の図書室の電気は、開室しているときは点けてほしい。	図書館機能の充実については適切に行われている。ただし電子図書館の推進および本館の老朽化への対応をしていただきたい。
	2 地域、ボランティアとの連携	適切	現在の「図書館ボランティア」、「図書館サポーター」を「図書館友の会」に移行していくことを検討してはどうか。名称的にも、緩い気持ちで図書館を応援したいという方には、友の会という名称のほうが入りやすいのでは。	
	3 コミュニティ情報等の収集・保存・発信	適切	特になし	
	4 図書館施設等の保全	概ね適切	本館の老朽化に対する解決策を模索してほしい。	
	5 電子図書館の推進	適切	Wi-Fi、電子書籍等の導入に関しては、実現に向けての努力・検討を期待したい。	
	6 図書館の効率的・効果的運営及び職員の資質の向上	適切	いろいろな取組をしてきた効果が入館者数の増に表れている。引き続き職員の資質向上に向けての取組をお願いしたい。	